

○矢倉 紀子 吾郷 美奈恵

(鳥取大学医療技術短期大学部看護学科)

【はじめに】 近年、高齢化が進み看護の対象も老人の占める割合が増大している。老人を看護するにあたり、身体的ケアはもちろん、老人が幸福感をもって家庭復帰できるような援助が必要となる。そこで、老人の人生満足度、抑うつ度に関連する要因として、個人特性、生活環境、健康状態の3側面より分析を行ない、若干の知見を得たので報告する。

【対象と方法】 対象は、某公立養護老人ホーム入所者（以下ホーム群とす）39名（男：10名、女：29名）と自治体が主催する人生大学受講者（以下人生大学群とする）165名（男：55名、女：104名、不明：6名）であり、平均年齢はホーム群：77.5±8.0歳、人生大学群：73.6±6.2歳であった。さらに、人生大学群を居住形態によって夫婦群、同居群、独居群に区分した。

方法は、人生満足度、抑うつ度、健康感、自覚症状、趣味に関するアンケート調査を行なった。人生満足度は、心理的幸福の程度を測定するために、和田が作成したLife Satisfaction Index (LSI)を使用し、その評価は満点が20点で得点の高い程人生満足度が高いと評価する。抑うつ度は、東邦大式抑うつ尺度 (SRQ-D) を用い、やはり得点の高い程抑うつ度が高いと評価し、最高は33点である。

【結果及び考察】 抑うつ度と人生満足度との関係は負の相関関係を認め、人生大学群で1%、ホーム群で5%の危険率で有意差が認められた。なを、両者とも年齢との相関関係は認められなかった。

#### 1. 居住形態と人生満足度・抑うつ度との関連 (図1・図2)

人生満足度得点は夫婦群が最も高く、次いで同居群、独居群であり、最も低かったのはホーム群で夫婦群と他の3群間、同居群とホーム群間に有意差が認められた。

抑うつ度得点は逆にホーム群が最も高く次いで同居群、独居群であり夫婦群が最も低くホーム群と他の3群間、同居群と夫婦群間に有意差が認められた。老人の居住形態としては、子どもとの同居が子孫への依存や、子孫の世話などにより最も生きがい感を高めるとの報告があるが、その一方で異世代間の価値観のずれや生活パターンの違いによる心理的葛藤が強くなることも考えられる。本調査結果は後者の要因が強かったためと推察する。

#### 2. 性・健康・趣味と人生満足度・抑うつ度との関連 (表1、表2)

人生大学群では人生満足度、抑うつ度いずれにおいても性、健康感で有意差が認められ男性の人生満足度が高く抑うつ度が低く、また健康感の強い群ほど人生満足度は高く、抑うつ度が低かった。自覚症状、趣味の有無では、自覚症状有群の抑うつ度が高く、趣味の有群の人生満足度が有意に得点が高かった。ホーム群も前述の人生大学群と同様の傾向を示したが、自覚症状においてのみ有意差を認め、無群の

抑うつ度が低かった。生きがい感にかかわる要因として、健康や趣味が重要な意味を持つことはすでに常識となっている。健康については必ずしも疾患を有しないことではなく、むしろ主観的な健康感をどれ位維持しているかにかかっていることが指摘されているが、本調査でもこのことが示され、看護するにあたって十分考慮する必要がある。また、趣味を持つことは加齢にともなう身体的、精神的、社会的機能の縮小・喪失体験をせざる得ない老人にとって、現実の自己存在についての充足感をもたらす意味でその意義が大きいことを認識し、援助する必要がある。

ホーム群で人生大学群程顕著な差が見られなかったのは、老人ホームという環境要因による影響が大きすぎて、他の要因による影響が覆いかくされたことと、ホームに入所せざる得なかったという個別的背景が影響していると考えられる。

【結語】 老人の生きがい感を高めるような看護援助は、疾患に対する医療的援助に終始するのではなく、疾患の有無にかかわらず主観的な健康感が持てるような働きかけを行なうこと、さらに老人が心理的な安定感、有用感の持てる家族関係への調整、自己充実感のある老人自らの内発的な趣味の持てる生活へと援助する必要がある。

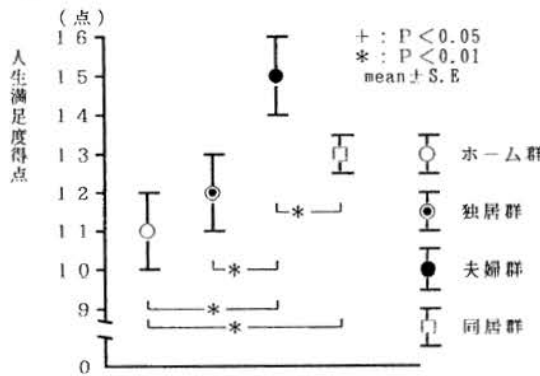


図1 居住形態別人生満足度

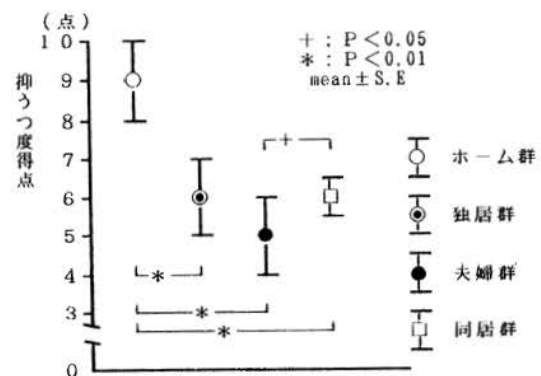


図2 居住形態別抑うつ度

表1 関連要因別人生満足度・抑うつ度得点(人生大学群)

	性		健康感			自覚症		趣味	
	男	女	強い	普通	弱い	有	無	有	無
	人生満足度	14.3±3.8 (53)	12.3±3.8 (87)	15.0±3.2 (43)	13.5±3.6 (47)	9.4±4.0 (17)	12.9±4.2 (90)	13.4±3.5 (47)	13.6±3.8 (124)
抑うつ度	4.3±3.0 (51)	6.3±3.7 (88)	4.1±2.5 (45)	5.4±3.2 (47)	9.0±4.1 (17)	6.3±3.8 (88)	4.6±2.8 (43)	5.6±3.3 (116)	6.2±4.4 (17)

+ : P<0.05 \* : P<0.01

表2 関連要因別人生満足度・抑うつ度得点(ホーム群)

	性		健康感			自覚症		趣味	
	男	女	強い	普通	弱い	有	無	有	無
	人生満足度	11.5±4.1 (10)	10.2±3.4 (29)	11.5±3.3 (13)	10.7±3.8 (12)	9.4±3.7 (14)	10.2±3.5 (36)	14.0±3.5 (3)	10.7±3.4 (31)
抑うつ度	8.4±3.8 (10)	8.9±5.8 (27)	6.6±5.5 (13)	10.2±5.0 (11)	9.6±5.0 (13)	9.5±5.1 (36)	2.0±1.0 (3)	9.1±6.6 (31)	8.5±4.4 (8)

+ : P<0.05 \* : P<0.01